

青少年相談員通信 わかば

発行・編集：
船橋市青少年相談員連絡協議会

事務局：
船橋市教育委員会生涯学習部青少年課内

TEL： 047-436-2903



未来を担う青少年の健全育成の為に
船橋市青少年相談員連絡協議会長
高須 直亮

日頃より青少年相談員の活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。
我々青少年相談員は、昭和三十八年十月から地域の推薦と千葉県知事及び船橋市長の委嘱を受けて活動している地域ボランティア団体です。一期三年間活動し、今期は二十期目になります。六十年近く続いており、船橋市内で二百五十八名の相談員が活動しています。今現在も昨年度からの「新型コロナウイルス感染」が未だに完全に終息しておらず、我々の生活環境にも多大な影響がありました。相談員活動においてもほとんどの活動が中止や延期になりました。「わかば」も残念ながら作成できず、二年ぶりの発行になりました。

その中でも我々相談員は、一日でも早いコロナ感染終息を祈り、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される中、リモートでの会議を行い、事業に向けての打ち合わせを行ってまいりました。連絡協議会としてもガイドラインを作成や相談員委嘱チラシ作成等、コロナ禍に合わせた新しい取り組みを行って参りました。

未だに完全にコロナ感染が終息はしていませんが、何とか少しずつではありますが事業が行えるようにはなり、我々としては船橋市の子どもたちや地域のために、WITHコロナで感染対策には十分に注意をして事業に取り組みしていきたいと思っております。

相談員各位においては、相談員活動への理解と協力いただき、誠にありがとうございます。
我々は活動を通して、船橋市内の小中学校の子どもたちに、楽しい思い出作りや健全育成に協力し、未来の船橋市を支える人材になってほしいという願いがあります。

また、地域活動として、船橋市内の自治会・町会等と協力して地域活動を一緒に続けて船橋市を盛り上げていけたらと思っております。私自身もこの活動を通して、子どもたちや仲間、地域の皆様から力をもらい、私自身も人間的に大変成長できたと思っております。今後も更に、地域の皆様のご意見を聞いて参考にして活動及び成長していきたいと思っております。

船橋市青少年相談員は連絡協議会として船橋市全体の事業を行うほか、東部、西部、南部、北部、中部の全5ブロックにエリアが分かれており、ブロック単位での事業にも従事しております。各ブロック長からのコメントを紹介します。



西部ブロックでは例年ですと、公民館で行われるイベント「ハッピーサタデー」にてスポーツ雪合戦、こどもまつり、年に数回ではありますが流しそうめんなどの行事を行っています。

西部ブロックと言えば、夏にキャンプを行う他ブロックと違い、冬に「ウィンタースポーツの会」として一泊二日で子どもと一緒に、スキーを体験しに雪山へ行きます。

この行事もコロナ禍においてこの2年間、開催できませんでした。今年度もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、

3年ぶりに「ウィンタースポーツの会」を開催しようと現在、西部ブロックの相談員一同準備を進めています。

来期は公民館での行事も開催する方向で準備を始めています。その他にも現在の状況下に合わせた活動や方策を考え、子どもたちにとってより良い活動になるよう、新しいことに挑戦してまいります。

(西部ブロック長 村松大輔)

自然いっぱいの北部ブロックです。北部ブロックでは夏にキャンプ、冬にスポーツイベント「友遊」を開催します。

今年度は感染症拡大を防ぐため宿泊キャンプはできませんでしたが、船橋市青少年キャンプ場にて一人一人が生地からピザ作りをし、段ボール窯で焼いたり、缶詰と固形燃料でおしるこを作ったりと「個食体験」をしました。

また、のこぎりを使って実際の枝を切るゲームや、様々なアイテムを使って効率よく水を運ぶ「水汲みレース」等も行いました。みんな頭と体を使い楽しく夏の一日を過ごしました。

冬の友遊は北部ブロック内の小学校をめぐる、「スポーツ雪合戦」や「キンボール」などニュースポーツを中心にイベントを開催しています。今年度は豊富小学校を舞台に「フライングディスク」を使ったレクリエーションを企画しています。

北部ブロックの元気な小学生諸君、ぜひイベントに遊びに来てね！
(北部ブロック長 新山修一)



今年度の東部ブロックの活動をふり返ると、まず7月に三山児童ホームの夏まつりのお手伝いをしました。たこ焼きビンゴ、だるまおとし、おばけ屋敷で子どもたちに楽しんで貰いました。何度も列に並び子どももいて、大喜びでした。

9月には、東部公民館のハピサタでデイキャンプを計画しましたが、コロナ第5波の影響で実施できませんでした。大神保キャンプ場でモルックやウォークラリーを行う予定だったため、大変残念でした。

12月には、習志野台公民館でプラバン工作を行い、三田公民館で子どもフラワーアレンジメント教室をお手伝いしました。プラバン工作では、20人ずつ参加者を入れ替えたり、工作に使うマジックの消毒も実施したりし、感染対策にも取り組みました。また、両イベントとも作業時に子どもたちの距離が取れるように、机の配置にも気をつけました。プラバンでは、子どもの描く絵の発想の豊かさに驚き、フラワーアレンジメントでは、出来栄の違いから、子どもたちの個性を感じました。

少しずつではありますが、活動も再開でき、子どもたちと触れ合う機会の貴重さを改めて実感する一年になりました。
(東部ブロック長 神保剛)



中部ブロックは新高根・芝山地区、高根台地区、高根・金杉地区、夏見地区の大きく4つの地区で活動しております。

活動としては大きくは3事業、夏の大神保キャンプ場で開催するブロックキャンプ、クリスマスの時期に音楽フェスティバル、はやく走るためのかけっこ教室などのスポーツイベント。

そして各地区の公民館とのハッピーサタデーなどの事業になります。今年は特に…あれ？子どもたちの思い出がいつもより少ない。そうだ今年もコロナ禍でほとんどの事業が残念ながら中止となってしまいました…。非常に残念です。

そんな中でもハッピーサタデーで久しぶりに子どもたちに会えた時はとても楽しく活動させていただきました。

活動できない時間は充電期間と前向きに捉え、次回事業開催時にしっかり子ども達に還元したいと中部ブロックメンバー一同考えております。その際には是非イベントに参加お願いいたします。

最後になりますが、コロナ禍の中つらい経験をされた皆さまには心からお見舞い申し上げます。

(中部ブロック長 岩本崇志)



南部ブロックは船橋駅周辺から南側の本町、湊町、海神、宮本の4地区、中央、宮本、浜町、海神の4公民館が主活動のブロックです。

南部ブロックは市内唯一、『海』に面したブロックで、海にちなんで夏に「サマースクール」事業を例年開催しています。しかしながら、一昨年から新型コロナウイルス、感染拡大防止による各公民館、地域事業の相次ぐ中止により、皆さんとお会いする機会が無い期間が続きました。

そんなコロナ禍の中でも子どもたちの笑顔、安全な交流、保護者の方々への安心を念頭に事業におけるガイドラインの策定検討、コロナ禍にあわせた新しい事業内容を検討してまいりました。

今年度はニュースポーツを盛り込んだ事業を作っていこうと考えています。どんなニュースポーツが出るのかは、楽しみにしててくださいね！

私たち「船橋市青少年相談員」は、各公民館で「ハッピーサタデー事業」「公民館まつり」、小学校など行われている「デイキャンプ」などで『青いジャンパー』を着ています。

ぜひ一緒に楽しみましょう！
(南部ブロック長 千葉智和)



船橋市青少年相談員連絡協議会は大きく4つの委員会を持ち、それぞれに特化した事業を行っております。各委員長からのコメントを紹介します。

キャンプ特別委員会 (高村昌宏)

今年度もコロナの影響で多くの事業が中止となってしまいましたが、その様な中でも我々相談員は活動再開に備え、約2年間、オンライン会議やYoutubeチャンネルやSNSアカウントの開設などの「バーチャル」的なアプローチを行いました。そういう意味では、コロナはポジティブに考えれば、ビジネスや暮らしだけでなく、我々ボランティア団体ですら旧態依然のやり方を見直すキッカケになりましたし、効率化が図れた部分もあります。起こる全てに意味がある。コロナは文明の発展の為に偶然？必然？に生まれたのかもしれませんが。

一方で、様々なイベントが中止になった事で楽しく活動していた時間と現地でしか生まれえない空気感を感じる事が少ない期間でもありました。次年度(R4年～)もどういう形で活動が出来るか予想できませんが、我々の最大事業である「船橋市青少年キャンプ」の特別委員会はShow must go on (=50年以上続いた船橋市青少年キャンプという名のショーをここで止めてはならない)の精神で準備を続けております。無事に執り行われた際には、子どもたちが偶然？必然？に出会った仲間達や我々相談員と同じ時間を過ごし、「リアル」でしか得られない機会を提供したいと思っております。



文化研修委員会 (古川香織)

文化研修委員会は、青少年相談員として自らの技能や能力向上を目的に、研修会を企画運営・実施し、文化交流事業等に協力しています。またブロック活動や地区活動の事業や行事で、子どもたちと関わるために必要な技術(レク、クラフト、キャンプ等)を体得するため、研修会を企画・運営、実施します。

今年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、子どもたちと関わる事業が例年通り出来ずに残念に思います。また相談員の研修事業も対面ではなくオンラインで開催し、感染症予防対策をテーマに意見交換の場が出た様々なアイデアを基に、これからの相談員活動にどう活かすかという事を提案しました。感染症対策については引き続き行い、感染症が少しずつ終息し、集団での活動が可能になりましたら、レクやキャンプに関する研修も再開出来るかと思えます。その折はスキルアップ目指して、是非皆様ご参加ください。何卒宜しくお願い申し上げます。

スポーツ委員会 (上原剛)

新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ委員会の活動も大きく制約を受けた一年となりました。スポーツ委員会の主な活動は、春の船橋市少年少女交歓大会の支援・秋の船橋市青少年つどい大会の企画運営です。残念ながら交歓大会は本年度中止となってしまいましたが、つどい大会は緊急事態宣言も解除され2年ぶりに開催ができました。

11月28日(日)に船橋市青少年会館で、船橋市教育委員会後援、船橋市障がい者スポーツ協会全面協力のもと、ポッチャ大会を開催することができました。ご協力いただいた皆様には感謝致します。厳しい感染症対策のガイドラインの中、長らくイベントを開催することができませんでしたので、こうした形で多くの子どもたちの笑顔を見ることができたのは何よりでした。イベントはパラリンピック後の開催ということもあり大盛況となりました。来年度以降もこうした活動を通じて子どもたちと楽しい企画を数多く進めていきたいと感じました。



広報委員会 (米原真人)

広報委員会では本紙「わかば」をはじめとする、青少年相談員連絡協議会の広報活動を行っています。「わかば」は青少年相談員の活動を、紙面を通じて市民の皆様にご覧いただく貴重な情報発信の機会となります。創刊は昭和45年とその歴史は半世紀にわたります。

また、紙面右上の題字は船橋市教育委員会の松本文化教育長が自ら書いてくださいました。「わかば」以外にも、青少年相談員の公式ホームページの運営を行っており、本年度はサイトデザインを刷新し、より多くの方に青少年相談員の活動を知っていただくために日々話し合いをしております。その結果ホームページの刷新にとどまらず、新たな情報の発信源として、SNS(Facebook)の運用も始めました。今後も青少年相談員の活動を市民の皆様にご覧いただくためには、どのような広報活動を行っていかばいいかを考え、ひとりでも多くの方にご理解をいただけるように活動をしてまいります。

最後に、令和3年度に青少年相談員の委嘱から27年目と現役最長の活躍をされており、先般千葉県青少年相談員連絡協議会より表彰を受けた別府曉からの寄稿です。



平成7年10月に第12期青少年相談員の委嘱を受けてから27年目に入りました。この度、私事で恐縮ですが、千葉県青少年相談員連絡協議会から委嘱26年の感謝状を賜りました。これもひとえに、諸先輩方や仲間達が自分自身を育成して頂いたお陰だと感じております。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

委嘱のきっかけとなったのは、亡き母が第8期の委嘱を受け、その時代に「船橋市青少年の船」で上海への交流事業を体験し、その体験談を子どもの頃から聞かされておられ、あなたも中国に行ける時には行ってきなさいと…。

委嘱可能な年齢になったら何故か推薦調書が我が家があり、気が付いたら市役所大会議室で委嘱式に出席しておりました。当時一番下端の私は(同期でも一番下でした)会議が終われば反省会の場所の確保やら2次会の段取り等、沢山の下積みを経験させて頂きました。

また、初任者にも関わらず、キャンプ特別委員を任命され、今までとは違った視点を取り入れたキャンプの先駆けを築きました。後にキャンパー一人一人にキャンプネームをと提案もさせて頂きました。期を重ねるにつれ、文化研修委員、周年事業実行委員、連協副会長、連協会長を務めさせて頂きました。

これまでの経験の中で沢山の思い出がありますが、一番のインパクトは先述した「船橋市青少年の船」事業に2度ほど参加させて頂いたことです。詳しい事は書ききれないので割愛しますが、一番印象に残っている事は1度目に受け持った子ども達が2度目の事業の指導者として参加し、一緒に子ども達のお手伝いをする事が出来た体験です。あれから15年が経ち感慨深いです。

相談員を委嘱して40周年事業(音楽楽園)、50周年事業(ダニエルカール氏講演会)を経験し2回ともスタッフをさせて頂きましたが、まさか60周年も体験できるとは…。子ども達の輝く姿のために、もうひと頑張りさせて頂けます様にどうぞ皆様、よろしくお願い申し上げます。

「青少年相談員」は地域の青少年健全育成を目的とする制度ボランティアです。1期3年の任期があり、委嘱時(令和4年4月以降)に20歳から51歳までの方を新たに募集しております。ボランティア活動に興味のある方、地域で活動を考えている方、子どもが好きな方などお気軽にお問合せ下さい。
 <お問合せ先>船橋市役所 教育委員会青少年課まで 電話:047-436-2903